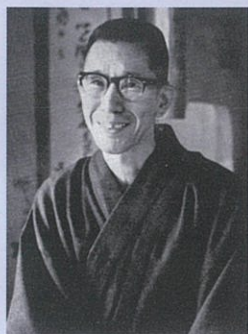


His Porcelain Seal Carving and Chinese Seal Study
K A T Ō J i u r ō



京都清水の陶工にして在野の中国古印研究者であった加藤慈雨楼 (1904-2000 本名十郎号紫山/慈雨楼) の知られざる事績を紹介します。

昭和8 (1933) 年に園田湖城主宰の篆刻結社 同風印社に加わり、篆刻とは学問として学ぶべきものであると悟った慈雨楼は、家業の陶磁器製作と共に篆刻技術の研鑽、実物の古印に基づく印章研究に力を注ぎ、「磁印」という形で表現しました。

このたび加藤家より寄贈された関係資料を通して、慈雨楼の作陶と印学の軌跡をたどります。

特別出品 大覚寺蔵 白磁獣鈕印「般若心経」加藤慈雨楼

8センチメートル四方に般若心経全278文字を布字した渾身の作!

加藤
慈雨楼

— 磁印凜々 —



磁印「蘭亭序」分刻 加藤慈雨楼 昭和138(1963)年
 (入れ子式の印)

2021年8月12日|木| — 12月26日|日|

<開園時間> (庭園・美術館) : 9:30~16:30 (入園は16:00まで)
 <休園日> (庭園・美術館) : 火曜日 但し11/23(火・祝)は開園、11/24(水)は休園
 庭園整備期間9/21(火)~9/28(火)
 <入園料> (庭園・美術館) : 一般1,200円 高校生・大学生500円 小・中学生300円
 主催 : 公益財団法人名勝依水園・寧楽美術館 後援 : 奈良県・奈良県教育委員会・奈良市
 *ご来園の際はマスクの着用をお願いいたします。
 *新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては開園日を変更する場合がございます。

名勝 依水園
寧楽美術館
 NEIRAKU MUSEUM of ART

奈良県みんなで楽しむ大芸術祭



ホームページ



◆特別陳列 重要文化財 『亦復一葉帖』 田能村竹田
 第二回「水天空潤」11/1(月)~11/17(水)

最新情報は依水園ホームページ (<https://isuien.or.jp/>)
 および公式 Twitter / Facebook / Facebook でご確認ください。